

## 三重県議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

このマニュアルは、三重県議会が行う新型コロナウイルス感染症に係る感染防止、議員の行動、議会運営、事務局の対応などの取扱いについて定める。

なお、感染の状況は刻々と変化しており、また、感染の形態も様々なケースがあることから、このマニュアルを原則としつつ、必要に応じて、代表者会議等を開催し協議するなど、臨機応変に対応するものとする。

また、議会主催の行事の開催の可否は、執行部の指針等を参考に、行事等を所管する会議等において判断する。

### 1 感染防止対策

#### (1)「新しい生活様式」の定着

##### ①3つの密の回避

換気が悪く、人が密に集まって過ごすような3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避する。

##### 【具体的な取組例】

- 会議等に支障のない範囲で、扉や窓を開放する。
- 会議中は、概ね1時間に1回は休憩を取り、換気する。
- 座席の間隔を空ける。
- 執行部等に対し、会議に出席する者の数を極力減らすように要請する。
- 会派や事務局の会議等について、委員会室等を活用する。

##### ②人と人との一定の距離の確保・飛沫感染の防止

人と人との一定の距離（2 m程度）を確保するなど、飛沫感染を防止する。

##### 【具体的な取組例】

- 近距離及び真正面での会話はできるだけ避ける。
- マスクを着用する。
- 咳エチケットを徹底する。
- 大きな声を出さないように注意する。
- 議場や受付等に飛沫防止シールドを設置する。

##### ③接触感染の防止

アルコール等による消毒等を徹底し、接触感染を防止する。

##### 【具体的な取組例】

- 石鹸による手洗いや消毒液による手指消毒を徹底する。
- 多数の者が触れる場所については、アルコール等による消毒を行う。

#### ④体調管理の徹底等

外出時・登庁時には検温を行うなど、体調管理を徹底する。

##### 【具体的な取組例】

- 体調が優れない時は、登庁について慎重に検討する。
- 会派控室に検温計を設置し、登庁時等に検温を実施するとともに、必要に応じて、体温チェックシート等も活用する。
- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」等の活用に努める。

#### (2) 議事堂内の感染防止対策

議事堂内の感染防止対策は次表のとおりとし、執務室等についても、可能な限り同様の感染防止に努める。

感染防止対策	本会議場	委員会室・ 全員協議会 室	会派 控室
(1) マスクの着用	○	○	○
(2) 入室時の手指消毒	○	○	○
(3) 検温の実施	—	—	○
(4) 会議等は概ね1時間に1回休憩、換気	○	○	○
(5) 飛沫防止シールド等の設置	○	○ <small>(全員協議会室)</small>	○
(6) 議員間や出席説明員間等の間隔の確保	—	○	○
(7) 出席説明員の人数を減らすよう要請	—	○	—
(8) 傍聴は、極力インターネット中継等での視聴を要請する。(傍聴する場合、必要に応じて、傍聴者の連絡先を確認する。)	○	○	—

## 2 議員の行動

### (1) 基本的指針

#### ① 感染防止対策の徹底

「新しい生活様式」を取り入れた感染防止対策を徹底するとともに、体調管理に万全を期す。

#### ② 速やかな参集

通年議会による機動的な議会運営を行うために、緊急な審議等で参集する必要が生じた場合には、速やかに対応できるようにする。

#### ③ 外出に当たっての配慮

外出時、登庁時には検温を実施し、発熱がある場合など感染を疑わせる症状がある場合は、自宅待機とする。

県外への移動については、移動先の感染状況や移動に関する方針等の確認を行い、感染防止対策を徹底する。

また、感染防止対策の不十分な施設等の利用は控える。

#### ④ 人権侵害や誹謗中傷等の根絶

新型コロナウイルス感染症に感染した方や、その家族、勤め先等に対する偏見や差別に繋がる行為、人権侵害、誹謗中傷、デマの流布やその拡散等を絶対に行わない。

また、人権侵害、誹謗中傷等の根絶に向けて、県民への啓発に努める。

### (2) 感染した場合や感染の恐れがある場合等の対応

次の何れかに該当した場合には、速やかに、状況や経緯等を様式1により、議会事務局に報告する。

また、保健所や医療機関（以下「保健所等」という。）から連絡、指示等があるなど、状況に変化があった場合には、様式2により、その都度、議会事務局に連絡する。

#### ① 感染が判明した場合

ア 議員は、自身の感染が判明した場合は、登庁しないものとし、保健所等の指示に従う。

イ 事務局は、保健所等の指示に従い、会派控室等の消毒、行動履歴の確認、各派代表者への状況報告等を行う。

ウ 議長は、執行部が行う公式発表に合わせて、議員本人又は家族の了承を得て、当該議員の氏名・選挙区を公表する。

## ② 感染の恐れがある場合

「議員が感染者と接触した場合は、濃厚接触者又は接触者（以下「濃厚接触者等」という。）の範囲が保健所において特定されるまで」、「議員が濃厚接触者等と接触した場合やその同居の家族等が濃厚接触者等と特定された場合などは、それらの者が PCR 検査等において陰性と判定されるまで、又は陽性と判定された場合には濃厚接触者等の範囲が保健所において特定されるまで」は、登庁を自粛する。

なお、議員が保健所より濃厚接触者等と特定された場合は、保健所等の指示に従い、PCR 検査等を受検する。その結果、陽性と判定された時には①の例によることとし、陰性と判定された時でも、濃厚接触者と特定されていた場合は、健康観察期間が経過するまでは自宅待機とする。

ただし、陰性の時で、保健所の調査の結果、濃厚接触者等に特定されなかった場合は、直ちに登庁できるものとする。

## ③ 症状がある場合

発熱、息苦しさ、強い倦怠感等の症状があるなど、感染が疑われる場合には、登庁を自粛する。

ア 発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等の医療機関に電話相談の上、速やかに受診する。

イ かかりつけ医等がなく、受診する医療機関に悩む時は、「受診・相談センター」に相談の上、医療機関を受診する。

ウ 医療機関を受診した場合には、速やかに、その結果を議会事務局に報告する。

## 3 議会運営

会議関係者に感染者や濃厚接触者等が生じた場合であっても、「議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行うこと」（議会基本条例第3条）ができるよう、下記の判断基準により、できる限り会議を開催する。

なお、その判断に当たり最善の対応を行うため、執行部の感染症対応業務等に十分留意した上で、全員協議会等の開催により、執行部からの速やかな情報提供を求める。

### (1) 本会議

議長が会議の開催の可否を判断する。判断が困難な場合、議会運営委員会に諮る。

- ① 定足数を満たし、かつ、開催が適当と認める場合  
感染防止対策を徹底した上で、会議を開催する。
- ② 定足数を満たすが開催が不適当と認める場合又は定足数に満たない場合  
会議を開催しないこととし、議会運営委員会において、審議を急ぐ必要がある議案であるかどうかを整理した上で、必要な議案について、知事による専決処分とすることの確認を行う。

## (2) 委員会

委員長が委員会の開催の可否を判断する。

なお、参集が困難な委員は、委員長の許可を得て、オンラインにより委員会に参加することができる。

- ① 定足数を満たし、かつ、開催が適当と認める場合  
感染防止対策を徹底した上で、委員会を開催する。
- ② 定足数を満たすが開催が不適当と認める場合又は定足数に満たない場合
  - ア 委員会付託前の議案等であって審議を急ぐ必要があるもの  
委員会付託を省略して本会議において審議を行う。
  - イ 委員会付託済みの議案等で審議を急ぐ必要があるもの  
審査期限を付し、期限を過ぎても委員会の開催が不適当と認める場合は、本会議において審議を行う。

## (3) 協議・調整の場

議長（座長）が会議の開催の可否を判断する。

なお、参集が困難な議員は、議長（座長）の許可を得て、オンラインにより会議に参加することができる。

- ① 開催が適当な場合  
感染防止対策を徹底した上で、会議を開催する。
- ② 開催が不適当な場合又は定足数に満たない場合  
議長（座長）は、会議の延期又は中止を判断し、急を要するものは、メール、FAX等により資料送付を行う。

#### 4 事務局の対応

##### (1) 班編成及び担当業務

マニュアルが適用される事態が発生した場合の事務局の体制は、下表のとおりとする。ただし、班編成及び各班の担当業務は、状況により臨機応変に対応する。

	班 員	主な担当業務
総 括	局長、次長	・事務局の総括
総務班	総務課職員 (班長：総務課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員、事務局職員からの感染等の報告対応</li> <li>・保健所対応</li> <li>・正副議長への連絡、情報伝達</li> <li>・職員への連絡、情報伝達</li> <li>・執行部への報告、情報伝達</li> <li>・議員の氏名等の公表</li> <li>・代表者会議、災害対策会議等の準備</li> </ul>
議事対応班	議事課職員 (班長：議事課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会議、委員会等の開催についての対応</li> <li>・議員（正副議長を除く）への連絡、情報伝達</li> <li>・議員からの情報の収集、整理</li> </ul>
報道対応・安全確保班	企画法務課職員 (班長：企画法務課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記者会見等の報道対応</li> <li>・消毒の実施</li> <li>・議事堂内の応急措置</li> </ul>
時間外・休日	指定職員（各課1名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の業務のうち、優先度の高い業務 (必要に応じて各班長の指示を受ける)</li> </ul>

##### (2) 議員が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の報告対応

新型コロナウイルス感染症に感染した旨の報告が様式1により議員からあった場合、直ちに正副議長に連絡するとともに、各班員に伝達し、保健所対応、消毒の準備を行う。

##### (3) 保健所の調査等への対応

新型コロナウイルス感染症に関する保健所の調査が行われた場合、総務班は調査に協力し、相談のうえ、報道対応・安全確保班と協力して感染者が触れたと思われる部位の消毒を直ちに行うとともに、必要に応じて入室制限等の表示を行う。

なお、共有スペースの消毒については、庁舎管理者が実施する。

**(4) 議員及び事務局職員への連絡**

議員が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、その事実を議事対応班は全議員（正副議長を除く）へ、総務班は事務局職員全員に通知する。

**(5) 代表者会議、災害対策会議等の開催**

必要に応じて、総務班は、代表者会議、災害対策会議等の開催を検討し、正副議長に諮って、議長が開催を決定した場合、開催通知を発出する。

**(6) 本会議、委員会の開催等**

議事対応班は、本会議、委員会の議会日程等への影響及び対応について検討し、正副議長にその結果を報告する。

**(7) 報道対応**

報道対応・安全確保班は、議員が感染し、議員本人又は家族の了承が得られた場合には、様式3により報道資料提供を行う。なお、記者クラブから求められた場合は、議会事務局が記者会見を行う。

なお、議員が、濃厚接触者等となった場合は、議長が必要を認める場合に限り、報道資料提供等を行う。

**(8) 事務局職員が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の対応**

事務局職員は、総括安全衛生管理者からの「新型コロナウイルス感染症に職員が感染した場合の対応について」等の通知に基づき行動し、感染した場合には、様式4により報告する。総務班は、直ちに正副議長に連絡するとともに、消毒の実施等、知事部局の例により対応する。

なお、事務局職員が感染した場合には、議長が必要と認める場合に限り、報道資料提供等を行う。

**(9) 議員、事務局職員が新型コロナウイルス感染症に感染した恐れがある場合の対応**

議員、事務局職員から感染の恐れがあると報告があった場合は、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症に感染した場合に準じて対応する。

**(10) 時間外・休日の対応**

指定職員は、議員、事務局職員が新型コロナウイルス感染症に感染した場合及び濃厚接触者と判断された場合には、速やかに事務局へ参集する。

なお、指定職員は各課1名とし、予備も含めて毎年度4月1日に登録する。

令和 年 月 日

議会事務局総務課 あて

(mail [gikais@pref.mie.lg.jp](mailto:gikais@pref.mie.lg.jp))

(fax 059-229-1931)

(tel 059-224-2871)

三重県議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルにより新型コロナウイルス感染症の発生等について、次のとおり報告します。

議員名	議員
状 況 ※該当するものに○を付けてください。	1. 感染が判明した 2. 感染の恐れがある <input type="checkbox"/> 感染者と接触した <input type="checkbox"/> 濃厚接触者と接触した <input type="checkbox"/> 接触者と接触した <input type="checkbox"/> 同居の家族等が濃厚接触者と特定された <input type="checkbox"/> 同居の家族等が接触者と特定された <input type="checkbox"/> その他 (具体的な状況： ) 3. 発熱等の症状がある (症状： )
上記事実の発生日	令和 年 月 日
経 緯(月日)	

※この報告時点でわかる範囲でご記入ください。



議会事務局総務課 あて

(mail [gikais@pref.mie.lg.jp](mailto:gikais@pref.mie.lg.jp))

(fax 059-229-1931)

(tel 059-224-2871)

三重県議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルにより新型コロナウイルス感染症の発生等について様式1に基づき報告しましたが、状況の変化があったので、改めて報告します。

議員名	議員
<p>状況の変化 ※最初の報告から、どのような点が変わったか。保健所等から、どのような指示等があったのか。</p> <p>等について詳細に記載してください。</p>	
上記事実の発生日	令和 年 月 日
経緯(月日等)	

※この報告時点でわかる範囲でご記入ください。

## 【議員用】（例）

令和〇年〇月〇日
連 絡 先
議会事務局 総務課 総務班
担当者：
電 話：059-224-2871
FAX：059-229-1931

## 三重県議会議員の新型コロナウイルス感染について

令和〇年〇月〇日（〇）、三重県議会議員が、新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

当該議員は、同日、県が発表しました県内〇〇例目の新型コロナウイルス感染者患者となります。

- 1 患者情報 三重県議会議員 〇〇 〇〇 （〇〇選挙区）\*  
県が令和〇年〇月〇日発表した県内〇〇例目の情報のとおり
- 2 今後の対応
  - ① 保健所からの指示等に従い、議会内等における濃厚接触者の把握等に協力
  - ② 会派控室等の消毒
- 3 その他  
本患者及び家族その他関係者の人権の尊重及び個人情報保護等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。

\*三重県議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルに基づき、当該議員の氏名及び選挙区を公表するものです。

令和 年 月 日

所属長 あて

氏 名

## 職員等の新型コロナウイルス感染症に係る報告について

令和2年2月21日付け三安衛第174号で総括安全衛生管理者（総務部長）から依頼のありました、職員等に係る新型コロナウイルス感染症の発生等について、下記のとおり報告します。

## 記

## 1 対象者

所 属	
職 名	
氏 名	
職員等の状況 ※該当するものに ○を付けてくださ い。	<input type="checkbox"/> 本人が患者となった <input type="checkbox"/> 本人が疑似症患者となった <input type="checkbox"/> 本人が保健所から健康観察の対象となった <input type="checkbox"/> 同居の家族等（続柄_____）が患者となった <input type="checkbox"/> 同居の家族等（続柄_____）が疑似症患者となった <input type="checkbox"/> 同居の家族等（続柄_____）が保健所から健康観察の対象となった
事実の発生日	保健所から陽性判定又は健康観察対象である旨の連絡があった日： 令和 年 月 日

## 2 経緯

年 月 日～	
--------	--

※この報告時点でわかる範囲でご記入下さい。

## 3 報告者

所 属	
職 名	
氏 名	

※報告先：所属長は人事担当へ報告してください。

人事担当は、所属長より報告を受けたら、人事課及び福利厚生課（課長及び副参事（健康管理医））に直接電子メールにより報告してください。